

第六〇回定例研究会

有料トイレのルーツと博覧会・共進会の高等便所

日本下水文化研究会会員 山崎 達雄

平成二六年一〇月一九日、東京・小平市の「ふれあい下水道館」において、「有料トイレのルーツ」についてお話をさせていただきました。

観光立国に向けて、訪日外国人の大幅な増加を旨指す日本。近年、コンビニのトイレが開放され、以前より困ることは少なくなりましたが、五年後の東京オリンピックを控え、おもてなしの一番の基本である排泄空間について、その質の一層の向上が求められています。排泄に対価を払う有料トイレも、その役割の一翼を担うと思いますが、有料トイレの歴史をたどり、設けられた時代や背景等を考察することにより、快適な公衆トイレの実現に向けて参考になれば幸いです。

当日の話は、近世の有料トイレである貸雪隠から始まって、日本で初めての有料トイレと考えられる第五回内国勸業博覧会（明治三六年（一九〇三）、大阪で開催）の高等便所、明治末期に新橋駅・上野駅・京都駅に設けられた高等便所、昭和初期の京都で、主に訪日外国人のための有料の水洗便所、さらに林芙美子の小説『めし』に登場した大阪の梅田トイレットなど、多岐にわたっています。本稿では、第五回内国勸業博覧会の高等便所をはじめ、博覧会・共進会の有料トイレについて、その後の調査内容も加えてまとめてみました。

1. 第五回内国勸業博覧会

江戸落語の『開帳の雪隠』や上方落語の『雪隠の競争』は、花見の名所等で他人の貸雪隠に一日中入って、自分の貸雪隠にお客を導き、儲ける臭い話です。この近世の貸雪隠を除けば、明治三六年（一九〇三）に大阪で開催された第五回内国勸業博覧会の高等便所が、日本で最初に設置された有料の公衆トイレです。

内国勸業博覧会は、明治一〇年に東京の上野において初めて開かれましたが、当時の内務卿大久保利通が、ウィーン万国博覧会を参考に、産業の振興のために推進したものとされています。内国勸業博覧会は、生産物や製品等の優劣を競うことにより出品者の技能を奨励し、農林水産業や工業等の振興を図るものです。その後、太政官布告により概ね五年毎に開催されることになり、第二回内国勸業博覧会が明治一四年に、第三回内国勸業博覧会が明治二三年に東京で開催され、第四回内国勸業博覧会は、平安遷都千百年の記念事業として、明治一八年に京都の岡崎で開催されています。

	開催場所	開催年	期 間	出品点数	観覧者数
第一回	東 京 上 野	明治10年 (1877)	8月21日～ 11月30日	84, 352	454, 168
第二回	東 京 上 野	明治14年 (1881)	3月1日～ 6月30日	331, 169	822, 395
第三回	東 京 上 野	明治23年 (1890)	4月1日～ 7月31日	167, 066	1, 023, 693
第四回	京 都 岡 崎	明治28年 (1895)	4月1日～ 7月31日	169, 098	1, 136, 692
第五回	大 阪 天王寺	明治36年 (1903)	3月1日～ 7月31日	276, 719	4, 350, 693

表 1 内国勸業博覧会の開催状況

第五回内国勸業博覧会は、当初は明治三三年に開催される予定でしたが、この年にパリで万国博覧

会があるため、明治三六年に延期されています(表1)。

大阪は明治維新以降、大きなイベントを誘致できておらず、第五回内国勸業博覧会の開催は悲願であり、東京と厳しく競った結果、大阪での開催が決定されています。

このようなことから、第五回内国勸業博覧会の成功にかける大阪の意気込みは高く、会場には天王寺(現在の天王寺公園・動物園とその周辺)が予定され、京都の岡崎の第四回内国勸業博覧会に比べて約二倍と広大な面積が用意され、堺にも第二会場(水族館)が準備されています。開催期間も、前回の京都に比べて一ヶ月も長い、三月一日から七月三十一日まで予定されています。

第五回内国勸業博覧会は、出品の優劣を競う従来の博覧会よりも、むしろ「祭り」としての色彩を強め、パリ万国博覧会で好評であった無線通信やX光線をはじめ、顕微鏡反射鏡、天然彩色写真実態鏡、月世界望遠鏡により不思議な世界に誘う不思議館、動物の生態を見せる余興動物園、さら

には、珍しいウオーターシュートやメリーゴランドなども設けられました(図1)。

博覧会の規模や出品数、その内容から、第五回内国勸業博覧会は日本で初めての万国博覧会と言われていますが、多数の入場者が予想され、会場の諸設備はもちろん、伝染病予防の点から汚物処理等、衛生面に十分注意を払う必要があったのです。

2. 第五回内国勸業博覧会の公衆トイレ

博覧会の公衆トイレといえは、一八五一年(嘉永四)に開催されたロンドン万国博覧会では、男子用二ヶ所、女子用四七ヶ所の有料の水洗公衆トイレが初めて設置され、大好評でした(『水晶宮物語』村松昌家著)。

第五回内国勸業博覧会でも、高等使所と呼ばれた有料の公衆トイレが、日本で初めて登場しています。当時刊行された博覧会の案内書や案内地図により、高等使所をはじめ場内のトイレの様子を見てみましょう。

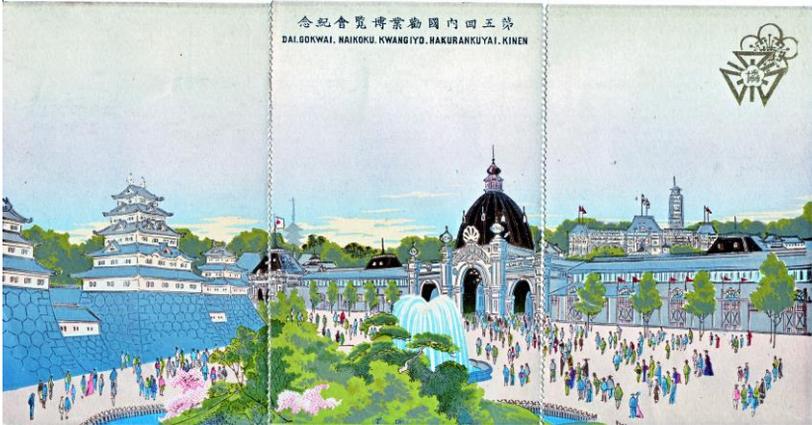


図1 絵はがき 第五回内国勸業博覧會 3枚綴りの絵はがきは珍しい

金港堂が発行した『第五回内国勸業博覧會総説 博覧會案内』には、会場内の公衆トイレについて、「事務局に於いて公衆便所を設けず。これを私設の営業に許したり。その設営に係るもの総て十数所あり。普通便所の使用はこれを無料として公衆の便に供し、別に中等上等高等の区別を設け、以てこれを賃貸す。高等便所には化粧室等の設けありて紳士貴女の便に供せり」とあります。博覧會としては初めての試みですが、大阪の北野徳三郎氏に、有価物であった場内の尿尿の処分を任す代わりに、公衆トイレの設置と管理を行わせたのです。

同じく金港堂が発行した『博覧會手引』の観覧者心得によれば会場内のトイレは、「高等便處（洋式）」、「上等便處 日本式」、「中等便處 日本式」、「無料便處」の四種類です。また、『第五回内国勸業博覧會場内観覧案内』（山田鎗之助著）では「場内営業の雑部」の中で「高等便所、普通便所、一四ヶ所 北野徳三郎」とあり、『第五回内国勸業博覧會案内記』（芳文社発行）では「高等休憩所 大

阪 北野徳三郎」とあります。

地図関係では、大阪朝日新聞の附録として発行された『第五回内国勸業博覧会案内』では「高等便所」、『第五回内国勸業博覧会平面図』においては「休憩所 高等便所 北野」、実業世界太平洋臨時増刊の附録である『第五回内国勸業博覧会全図』では「休息北野」と書かれています(図2)。

これらから考えると、第五回内国勸業博覧会の高等便所は、有料の公衆トイレと言うよりは、むしろトイレのある有料の休憩所と考えた方が適切かもしれません。

高等便所の場所は会場正門から奥まった博覧会式場の近くで、その辺りには美術館や楊柳観音坐像噴水があり、博覧会の中心部の一つです。日本全国書画倶楽部と料理店に挟まれる形で、「休憩所 高等便所 北野」が営業しています。

なお、水槽に「魚介禽獸」を放つて見せる水族館がある堺の第二会場にも、「高等洋式便處 一ヶ処 日本式 同 一ヶ處 無料 同 二ヶ處 合計 四ヶ所アリ」(金港堂発行の『博覧会手引』)

とありますので、洋式と和式の高等便所各一ヶ所が設けられています。

3. 洋式の高等便所、和式の上等便所、中等便所

高等便所は金港堂の『博覧会手引』によれば、「紳士及夫人用ニシテ、特ニ夫人ニ限り化粧室アリ」とあります。高等便所には洋式の男子用便所と婦人用の便所が別々に設けられ、婦人用の便所には洋式の化粧室が備えられていました。使用料金は、男子は一〇銭、女子は一五銭です。

上等便所と中等便所は、「右ハ十ヶ処アリ、各一棟ニシテ、内ニ等区別アリ。但シ上等ニハ日本式化粧室アリ」(『博覧会手引』)とあり、一棟の建物を区分して、上等便所と中等便所が設けられました。いずれも日本式で、上等便所には日本式の化粧室が用意されています。使用料は、『博覧会手引』には記載されていませんが、後述の日出新聞(現在の京都新聞)の記事から推定すると、一、二銭と思われる。

上等・中等便所は、会場内に一〇ヶ所に設置さ



図2 『第五回内国勧業博覧会案内図』等に描かれた「高等便所」

れました。『第五回内国勧業博覧会案内』(大阪朝日新聞附録)に、工業館の近くなどに洋式便所の記載があります。これが上等・中等便所と思われる、無料便所は会場内に六ヶ所設けられています。

4. 高すぎて、敬遠された高等便所

第五回内国勧業博覧会において、日本で初めて生まれた有料トイレですが、使用料が高すぎて敬遠され、利用されることは少なかったようです。

日出新聞は、明治三六年(一九〇三)四月二七日に、新聞記者が博覧会取材した「博覧会雑観」を掲載しています。その中で、「有料便所は、従来に例なきことであれば、彼れはれ小言のあるも尤もであるが、また一方より考えれば、当今の時勢は、斯ることも今後追々行はるゝことであろう」と紹介し

ています。

記者は、有料の公衆トイレを会場内に設置したことは、いろいろ批判はあるかもしれないが、時代の趨勢であると肯定しています。続けて、「十銭、三十銭杯取る高等便所に入る者は、殆んど稀にして、一銭、二銭の便所が多い」と書き、高等便所に入る者が殆んどおらず、せいぜい中等便所までと報じています。

日出新聞記者が高いと槍玉にあげた高等便所の使用料は、男子一〇銭、女子一五銭です。第五回内国勸業博覧会の観覧券（入場券）は、観覧時間が午前八時から午後五時までの通常日は一枚五銭です。夜間一〇時まで入場可能な日曜日・水曜日及び大祭日は、観覧券二枚が必要となります。

高等便所を使用するには、男子では通常日の観覧券の二倍、女子は三倍の料金が必要となります。平成一七年（二〇〇五）に愛知県で開催された「愛・地球博覧会」の入場料は、一人四六〇〇円でした。入場料の比較によって、博覧会の高等便所の使用料を現代の価格に換算すると、男子用は

九二〇〇円、婦人用は一万三八〇〇円です。当時の暮らしなどを全く考慮せずに、単純に比べるのは妥当性を欠けるかもしれませんが、それでも、高等便所の利用料が大変高額であったことがわかります。

5. 不潔極まりない無料便所

無料便所ですが、大日本私立衛生会雑誌（明治三六年（一九〇三）六月二八日発行 第二四一号）に引用された大阪朝日新聞の記事によれば、「最も不潔を極むるものは場内の無料便所なり、その男子用の方は甚しきに至らずと雖も、婦人用のものに至っては一見嘔吐を催ほさしむるものあり、僅かに一銭乃至二銭を投ずれば、他の稍清潔なる便所にて用便するを得る譯なれども、矢張人情として無料のものゝみ非常の繁昌を極めつゝある」とあり、無料便所は繁昌しているが、不潔極まりないと断じています。

これは、場内に少ない無料便所に利用者が集中して、掃除や汲取が行き届かなかったので、前述

博覧會の三小便



京都では太根一本ぐらひよこす筈
博覧會では定價一錢以上の有料
「エライ難儀ヤ」と京美人の驚き

門長守衛無案 司馬田丹書

図3 博覧會の三小便(『滑稽新聞』第45号京都府立図書館所蔵)

者を迎え、大成功で終了し、明治二八年に『第五回内国勸業博覧會事務報告』が出されていますが、その中で会場の公衆トイレについても言及されています。「欧米ニ於ケル有料便所ノ例ニ倣ヒテ、有料トイレを採用したのを

の日出新聞は、無料便所に行くのに往復で二、三町(約二〇〇〜三〇〇m)も歩くのであれば、一、二銭で用を足すことは止む得ないと、暗に上等便所や中等便所の使用を奨めています。
時事批評で有名となった『滑稽新聞』でも、第五回内国勸業博覧會の高等便所が取り上げられ、格好の標的にされています。

明治三六年三月の『滑稽新聞』第四五号には、「博覧會の三小便」が挿し絵付きで紹介されています(図3)。特に、高等便所は、「京都では大根一本ぐらひよこす筈 博覧會では定価一錢以上の

有料、「エライ難儀ヤ」と京美人の驚き」と皮肉られ、また、「事物始原一覽」(『滑稽新聞』第五七号)のなかでも、「小便をさして銭を取ることを発明したのは織田一と云ふ」と書き、博覧會の事務官である織田一を強烈に揶揄しています。

当時、尿尿は有価物として取り引きされていましたから、排泄にお金がかかることは、観覧者は考へてもみなかったことでしょう。公衆トイレに關する庶民の本音を、『滑稽新聞』は見事に代弁したのです。

はじめ、場内のトイレの建設・管理等を民間に任したことは、主催者としては費用を節約すること
はでき、観覧者にも大いに便利に感ずることがで
きたと評価しています。しかし、「有料ノ便所ハ未
タ一般ニ行ハレサルヲ以テ之ヲ使用スル者比較
少カリシカ」と、その利用状況は芳しくなかつた
と認めています。また、無料便所は、入場者数に
対して数が少なく、また観覧者の中には無料と有
料の区別がわからず、相当混乱したとも述べてい
ます。

6. 東京勸業博覧会 第六回内国勸業博覧会に向 けて

第五回内国勸業博覧会の誘致に敗れた東京です
が、明治四一年（一九〇八）に開かれるであろう
第六回内国勸業博覧会の東京開催を目指して、早
くも動き出しています。東京府会は、明治三八年
一二月に「第六回内国勸業博覧会開設ニ応スル準
備」として、「製作品ノ一大共進会ヲ開設スヘキ」

意見書を決議し、また実業界においても同様の建
議が採択され、これを受けて東京は、明治四〇年
三月二〇日から七月三二日まで、上野公園を会場
とした東京勸業博覧会を開催しています。

会場は、第一会場（上野公園竹ノ台地区）、第二
会場（不忍池周辺）、第三会場（博物館と帝国図書
館の間の茗荷谷地区）に分かれ、全国から約九万
三千点が出品され、観覧料は平日大人一〇銭、日
曜・祭日一五銭ですが、約六五七万人が入場して
います。

トイレは、第一・第二・第三会場併せて、無料
便所三ヶ所、西洋人便所三ヶ所に、有料便所も
設けられました。開会当初からトイレの不足と
その衛生状態が心配されています。

開会式の翌日の三月二二日の東京朝日新聞は、
「博覧会の便所 尚不足を感ず」とし、「追々観覧
者の増加と共に到底不足を免れず、現に昨日の如
き、上野山下の便所は修繕中にて入るを許されざ
る為め、広小路の巡査派出所に至りしもの多く、

場 所	開 設 者	坪数	貸 地 料	開業年月日
車坂門側	神谷汎資	8	5 2 円 6 0 銭	明治40年3月20日
第三号館西方	扇橋製薬株式会社	15	1 0 0 円 5 0 銭	明治40年3月20日
第一号西裏	神谷汎資	10	2 0 円 1 0 銭	明治40年3月20日
第二会場事務所側	神谷汎資	8	1 6 円 8 0 銭	明治40年3月20日
車輛館裏	神谷汎資	14	2 8 円 1 4 銭	明治40年3月20日
外国製品館裏溝縁	神谷汎資	4	8 円 4 0 銭	明治40年3月20日
動物舎側	設楽竹二郎	10	2 0 円 1 0 銭	明治40年4月5日
協賛会事務所側	石橋豊三郎	12	1 8 円 1 2 銭	明治40年3月20日
第一会場第一非常門側	石橋豊三郎	8	1 6 円 8 0 銭	明治40年3月20日
外国製品館裏	石橋豊三郎	10	2 0 円 1 0 銭	明治40年3月20日
第一号館裏	成澤英和	10	2 0 円 1 0 銭	明治40年3月20日
外国製品館裏	成澤英和	8	1 6 円 8 0 銭	明治40年3月20日

注1 外国製品館北東裏隅に小林幸次郎が開設を予定していたが、開業していない。

注2 出典『東京勸業博覧会事務報告』（京都府立図書館所蔵）

表2 東京勸業博覧会有料便所一覧

其の結果忽ち汚水溢れ、続いて三橋際の共同便所も流れ出て、臭気紛々たり」と不衛生な状態を嘆き、三月二八日付の同紙は、「第一第二両会場とも比較的便所の少きと、其所在の判り難き為め、大に不便を感じる事は、入場者の口々に唱ふる所なり」と、その不足等を断じています。

7. 東京勸業博覧会の模範高等便所

第五回内国勸業博覧会で初めて設けられた有料便所ですが、東京勸業博覧会でも第一会場・第二会場併せて一三ヶ所の有料便所が許可されています(表2)。乱立等もあつて、その多くは経営不振に陥り、使用料の値下げや途中廃業を余儀なくされています。その中でも、特に評判を呼んだのが、「消毒防臭模範便所」(図4)と名付けられた扇橋製薬株式会社の有料便所です。「模範便所 アルポーズ消毒防臭の便所は、第三号館と演芸館の筋

向ひ模型日本橋通りの角に在りて、其内部は如露仕掛にて絶えず糞便にアルポーズ液を注射して消毒防臭し、手洗器は手先より病毒の感染せざる新案のものにて、手洗水もアルポーズ希薄液を用ひ、婦人用の方には三層敷の姿見洗面器を備へたる化粧室の設けあり、男子用の方にも姿見あり、亦長



図4 消毒防臭模範便所

六尺の布付腰掛を備へあり、料金は男子三銭、婦人五銭なれども、各料金と同価格のアルポーズ石鹼を進呈し、用便紙手拭を要する場合には、入口にてアルポーズを買えば特別廉価にて販売し、景品として右二品を添へる仕組みにて、衛生家潔癖家は必ず一度試みて参考とするむの価値ある模範便所なり、両口の両側に紫袴の婦人控へて、料金引替へに石鹼を渡し、正面売店の飾棚等一見便所とは心付かざる程の構造なり」(『風俗画報増刊第三百六一号 東京勸業博覧会図説第二編』)

「消毒防臭模範便所」では、婦人用の姿見鏡や化粧用具等だけでなく、悪臭防止のため、自家製の薬品も使用でき、接遇も懇切丁寧であり、「扇橋製菓株式会社小栗貞雄ノ出願ニ係レル模範高等便所ト名ツケタルモノハ、其名ニ背カス、最モ整備シタル施設」と、『東京勸業博覧会事務報告』は絶賛しています。

8. 失敗に終わった東京勸業博覧会の有料便所

扇橋製菓以外の有料便所は、「此他相当ノ設備ヲ

為シタル便所アリシト雖モ、概シテ何レモ其結果良好ナラス。其甚ハタシキモノニ至テハ、一日ノ取得其使用人ノ給料ヲモ払フニ足ラス。会期中維持ノ見込ナク、遂ニ中途ニシテ廃業ヲ申出ルノ已ヲ得サルモノアルニ至レリ」(『東京勸業博覧会事務報告』)の状況でした。また、明治四〇年(一九〇七)六月二〇日付の読売新聞は、三ヶ所の有料便所が集中している「外国館裏手にある有料便所は、昨今観覧人少くなりし為め、使用者殆どなく、それが為め、設置主である鳴海英和氏から廃業願がだされる」と報じています(図5)。

「七八百円の建築費を要したるに、今日まで二円と収入ありたる日はなし」のように有料便所が不振であったのは、無料便所の影響を受けたことに加えて、特定の場所への乱立(例えば、外国館裏手に有料便所三軒、無料便所一ヶ所)や、設置場所もわかりにくいこともありました。しかし、それ以上に、有価物として尿尿が取引されていた当時、排泄にお金を払ってまで、トイレを利用する意識は非常に希薄であったのです。このため、



図5 (東京勸業博覧会)場内の便所(『東京パック 博覧会パック 第三巻十巻号』(京都府立図書館所蔵))

採算を度外視して、自社製品の宣伝もあった扇橋製薬以外の有料便所は、厳しい状況に追い込まれたのは、当然の帰結でありました。

しかし、東京勸業博覧会の事務局は、「有料便所ノ設置ハ、博覧会ニ於ケル便所ノ設備ニ対シテ、大ニ便宜ヲ與フルモノナルヲ以テ、将来ハ其維持ノ方法ニ就キ、必ラス一考ヲ費スヘキ問題」(『東京勸業博覧会事務報告』)と考へ、将来有料便所が果たす役割があり、維持方法を検討すべきとして

います。

9. 第十回関西府県連合共進会

博覧会とは別に、生産品の優劣等を競う共進会が全国各地で企画されています。関西府県を中心とした関西府県連合共進会は、明治一六年（一八八三）に大阪で初めて開催されて以来、ほぼ三年毎に持ち回りで、広島、京都、奈良、石川、三重等で開かれてきた伝統ある共進会です。

明治四三年は、名古屋城が慶長一五年（一六一〇）に築城されてから三〇〇年にあたることから、「名古屋開府三〇〇年」の記念事業として、第十回関西府県連合共進会が名古屋市の鶴舞公園で開催されていますが、ここでも有料トイレが設けられています。

関西府県連合共進会は、関西の名前が示すとおり従前は西日本が中心でしたが、第十回関西府県連合共進会は、関東・甲信越まで出品範囲を広げ、三府二八県から、八万六千人、一八万六千点の出品がありました。これは、大阪で開催された第五

回内国勸業博覧会（出品者数二万八千人 出品点数二万七千点）には及びませんが、三重県で開催された第九回共進会の出品数の約二倍と、大規模な共進会となりました。

開催場所は、前年に開園された名古屋市鶴舞公園、敷地は九万九千坪で、第五回内国勸業博覧会の大阪天王寺の敷地（一〇万五千坪）とほぼ匹敵する大きさで、開催にかかる地元の意気込みがわかります。

第十回関西府県連合共進会は、三月一六日から六月一三日まで開催され、約二六三万人の観覧者



図6 絵はがき 第十回関西府県連合共進会（正門 奏楽堂）

を迎えます。皇太子殿下（大正天皇）の行啓をはじめ賓客の来場も多く、四千人を超える外国からの来場者もありました。第五回内国勸業博覧会には及びませんでした。京都で開催された第四回内国勸業博覧会を大きく上回る大盛況でした。

なお、現在の鶴舞公園には第十回関西府県連合共進会の開催当時の噴水塔や奏楽堂が復元され、若者の集いの場所にもなっています（図6）。

10. 第十回関西府県連合共進会の有料便所

関西府県連合共進会としては、かつてない規模で行われた第十回関西府県連合共進会ですが、この時も、有料便所二〇ヶ所が設けられています（図7）。

明治四三年三月一〇日付の新愛知は、開場前の準備状況に関して、「会場構内に設置さるべき便所の数は約三十四ヶ所の予定なるが、其内有料無料の二種に分たれ、無料便所は県より設置し、有料便所は市より設置（中略）、有料は又高等普通の二種に分たれ、高等は一回の料金が五銭、普通二銭



図7 第十回関西府県連合共進会会場案内図(部分)
有料便所(●)のすぐ隣に、東京日々新聞他七社休憩所(●)がある

宛徴収」と報じています。第五回内国勸業博覧会の高等便所（男子一〇銭、女子二五銭）に比較す

ると、高等の有料便所の使用料が五銭、普通の有料便所が二銭ですから、安いですが、共進会の観覧料金（平日の昼間、一四歳以上一〇銭、子供五銭、休日は一五銭、一〇銭）と比べると、まだまだ高額であったのです。

有料便所の構造は、「五間に二間の全部鉛板葺となし、正面内には二畳の腰掛あり 此処には大鏡を備え付け、両側半間の入口を入れれば両便所四個宛計八ヶ所」（同前）とあり、「高等便所には二人、二銭の普通便所には一人宛の婦人看守」（新愛知 明治四三年三月二六日）が接遇し、有料便所の設置場所まで具体的に報じています。

1.1. 有料便所の経営

有料便所ですが、一ヶ所の建設費約五〇〇円、婦人看守の給与は一人一ヶ月平均一二円、月給一五円の掃除夫一〇人ですから、便槽に溜まった尿が有価物として処理できるとはいえ、会期中に余程の利用者がいないと、東京勸業博覧会と同様その経営はかなり厳しいものになると予想されま

した。

実際、有料便所の利用状況は寂寞たるもので、新愛知は、二〇ヶ所を通じて利用料金の収入は、多い日で四〇円、少ない日には二五円に満たない状況と報じています。利用者数に換算すると、高等便所では四〇人以内、普通便所では一〇〇人以上で、共進会の一日の平均入場者二万九千人からすると、いかに閑散とした状況かがわかります。

このように利用者が極端に少なく、苦境に陥っている有料便所ですが、その競争相手は、無料便所だけではなく、団体等が開いた無料休憩所が強力なライバルでした。赤十字社愛国婦人会が設けた無料休憩所は、便所はもちろん、姿見・座布団等を備えた休憩所や化粧室・洗面所が用意され、さらに茶の接待もありました。これでは、有料便所がはやらないのは当然かもしれません。

関西連合府県共進会での有料便所は、名古屋市が初めてではありません。前回津市で開催された第九回共進会でも設けられました。この時は、『贅六パック 第壹号』が、「入場料は三銭だが、場内



図8 津市の連合共進会 (『贅六パック第
 七号』)

に共同便所がなく、会で拵へた有料便所と下足料とで式銭を取る」(図8)と、強烈に皮肉つています。前回の共進会のように、有料便所を半ば強制的に使用させる仕組みがない限り、その経営は難しいことはわかっていたはずですが。

12. 貿易製産品共進会の有料便所

名古屋で開催された第十回関西府県連合共進会

の成功は、他府県市にも大きな影響を与えました。主要な貿易港であった神戸では、貿易の一層の隆盛により神戸の経済の振興を図るため、貿易品を主な対象とした貿易製産品共進会を、明治四四年(一九一)三月に開催していますが(図9)、ここでも有料トイレが設けられています。

共進会を主催するため、兵庫県知事や神戸市長の賛同を得て神戸市商工協会が新たに設立され、三月一五日から、神戸市湊川埋立地(現在の湊川公園)において貿易製産品共進会を開催しています。共進会には、東北や九州の一部を除き全国から約一五万点が出品され、四月四日には皇太子殿下であった大正天皇の行幸啓もありました。約七六万人が入場して成功を収め、大正三年(一九一四)三月にも大正天皇の即位も記念して、第二回の共進会が開催されています。

第一回、第二回の貿易製産品共進会とも、有料便所が一ヶ所設けられています。神戸又七新報(現在の神戸新聞)は、有料便所はポツポツと婦人が入るだけの閑散な状況で、また、「コノ



図9 絵はがき 貿易生産品共進会

ベンジヨ ヲカネイリマス」と表口に書かれていても、有料便所に入つて、「神戸ちうとこは、迂闊うづかつり小便も出来ない」と、こぼす婦人もいたと報じています。

また、

会場内では、便所以外で放尿する人が後を絶たなかつたようです。第一回共進会では、喫煙制止（一七三七人）に続いて多

い三六〇人が放尿制止の指導を受け、第二回では優待休憩所の裏に、「此所小便する事ならん」との柵・看板が設けられています。有料便所を利用するより、場内で放尿する人が多かったことがわかります。

13. 東京大正博覧会

東京では、明治四〇年（一九〇七）の東京勧業博覧会に続いて、大正天皇の御即位を奉祝し産業と教育の振興を図るため、大正三年（一九一四）三月に上野公園を主会場として東京大正博覧会が開催されています。

上野公園の主会場では、東京市内の模型等を展示した東京館、外国館、白木・三越呉服店等が建ち並び、全国から教育学芸、美術、農業、化学工業、染織工業、建築、機械・船舶・電気等の一四部一八〇類にわたって、一六万点が出品されています。また、自動電動昇降機（現在のエスカレーター）、上野の第一会場と第二会場を結ぶ。一回一五銭）が、日本ではじめて導入され、不忍池の上

空を遊覧する遊覧索道車（現在のロープウェイ、八人乗り一回二〇銭）もあり、別会場となつた青山飛行場（青山練兵場）や芝浦飛行場（芝浦埋立地）では、陸海軍の飛行機の展示と試験飛行も催されました。更に、大人の入場券は平日一五銭ですが、一〇万枚当たり一等一〇〇円の物品購入券が二本、二等五〇円が一〇本等たる福引が付いていることもあつて、観覧者は、東京勸業博覧会に比べて六二万人増の約七四六万人に達するなど、大変な賑わいでした。

14. 有料便所設けず、便所不足、掃除不足、場内で放尿目立つ博覧会

有料便所が乱立し、営業不振に陥つた東京勸業博覧会の失敗に懲りたのか、東京大正博覧会では、有料便所は許可しない方針でした。博覧会の事務局は、「便所の設置は、特に衛生に留意し、警視庁医務部と打合せ、完全なる便所（図10）を設置」（『大正博覧会事務報告』）したとあります。しかし、会場は約一〇万坪と、東京勸業博覧会よりも

広いうえ、公衆便所は、東京勸業博覧会の四七ヶ所（有料便所を含む）より半分の二三ヶ所（外国人専用便所（図11）二ヶ所、婦人専用便所一ヶ所を含む）に過ぎず、観覧者はかなり不満が募つたと考えられます。

博覧会が始まつた当初の三月二二日の東京朝日新聞には、「便所が不足、只困るのは会場

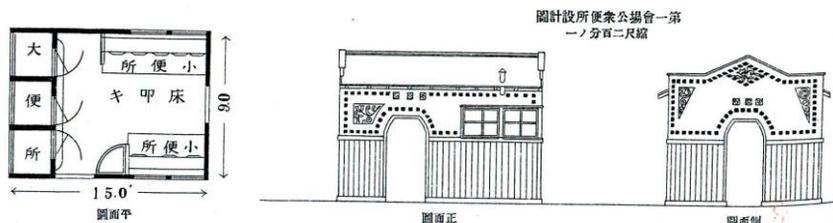


図10 東京大正博覧会第一会場公衆便所（『東京大正博覧会事務報告』（京都府立図書館所蔵））



図11 東京大正博覧会外人専用便所(『建築世界臨時増刊 東京勸業博覧会建築号』(国立国会図書館所蔵))

通じて共同便所が1箇所もない事有る」と書かれています。三月三〇日の読売新聞は、東京府会議長が、「便所の掃除不行届で、靴では入れないと、その不潔さ」を嘆き、同日の東京朝日新聞は、「大正博覧会と世評」の連載の中で、「思い付三箇条(略)第二は便所の少ない事である、尤も之は開

館式当時から 当事者に御忠告申した事で 周章して、五六の新設を見たが また足りない」と注意しています。

『東京大正博覧会事務報告』は、「本会ノ便所モ、大ナル悪評ナカリシハ幸トスルトコロナリシ」とあります。しかし、会場の規模と観覧者数や公衆便所の数を考えれば、便所の不足は一目瞭然で、会場内で放尿する人も多かつたようです。「会場内取締規則」により、五〇六名が「場内ノ便所外ニ放尿セントセシモノ」として指導を受け、「便所不潔ノ注意」も八六六名に上るなど、「完全な便所」以前に、会場内の衛生確保さえもままならなかつた状況ではないでしょうか。

なお、有料便所ですが、青山飛行場においては、小石川区音羽町山内吉之助が出願の有料便所が認可されています。

15. 始政五年記念朝鮮物産共進会の有料高等便所

始政五年記念朝鮮物産共進会は、日本が朝鮮を

明治四三年（一九一〇）に「併合」し、植民地支配を始めてから五年を経過したことから、大正四年（一九一五）九月一日から一〇月三二日まで、李氏朝鮮の王宮であったソウルの景福宮で開催されています（図12）。朝鮮をはじめ、台湾・日本等から、四万八千点余りが出品され、一一六万人を超える観覧者がありました。

会場内には共同便所二ヶ所（当初六ヶ所、その後六ヶ所を増設）が設けられましたが、有料便所も、始政五年記念朝鮮物産共進会京城協賛会が演芸館の裏手に、「建坪十一坪八合ノ洋式建築ニシテ、外部ハ漆喰塗」（『始政五年記念朝鮮物産共進会京城協賛会報告』）の高等便所を設けています（図13）。

使用料は一回二銭で、手洗場には、化粧品が備えられ、入場者が随意に使用することができました。第十回関西府県連合共進会（明治四二年、名古屋市開催）の有料便所の使用料が五銭ですから、これに比べると低く設定されていますが、朝鮮物産共進会の観覧料（大人平日五銭、祝祭日・日曜

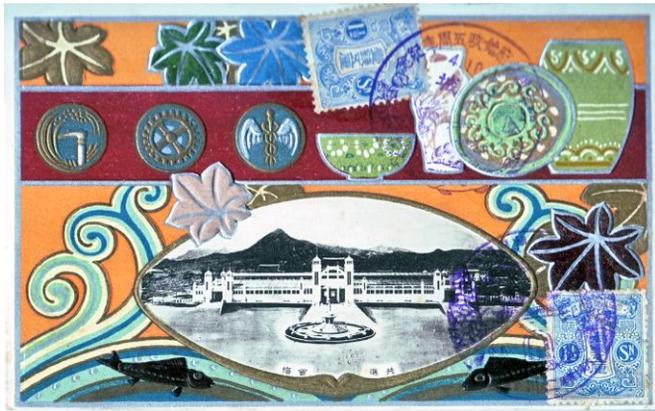


図12 絵はがき 始政五年記念朝鮮物産共進会

日一〇銭）と比較すれば、また高い使用料です。このこともあって、実際に高等便所を利用する人は、「其設備稍完全ナルモ、之レニ入ルモノ比較的

少ナク、日日百名内外二過キス」(始政五年記念朝鮮物産共進会報告書)の状況でありました。



なお、昭和一〇年(一九三五)一〇月に、台湾博覧会が台北市で開催されていますが、無料の公衆便所六ヶ所のみで、有料便所は設けられていません。

16. 名古屋汎太平洋平和博覧会の有料便所W.

C.

最後に、昭和一二年(一九三七)に名古屋市が愛知県・名古屋商工会議所の協賛を得て、海の大玄関となった名古屋市臨港地帯で開催した名古屋汎太平洋平和博覧会の有料便所を紹介します。

名古屋市は、昭和一二年が名古屋港開港二〇周年に当たるところから、同港の大規模な修復工事をはじめ名古屋駅の大改築、大飛行場や国際観光ホテルの建設等、国際都市として一大飛躍を図るべく、都市整備を進めてきました。昭和一二年にその竣成を記念し、太平洋の平和と新文化建設のため、名古屋汎太平洋平和博覧会を三月一五日から五月三十一日まで開催しています。

名古屋市臨港地帯の会場は、東会場(運河東、

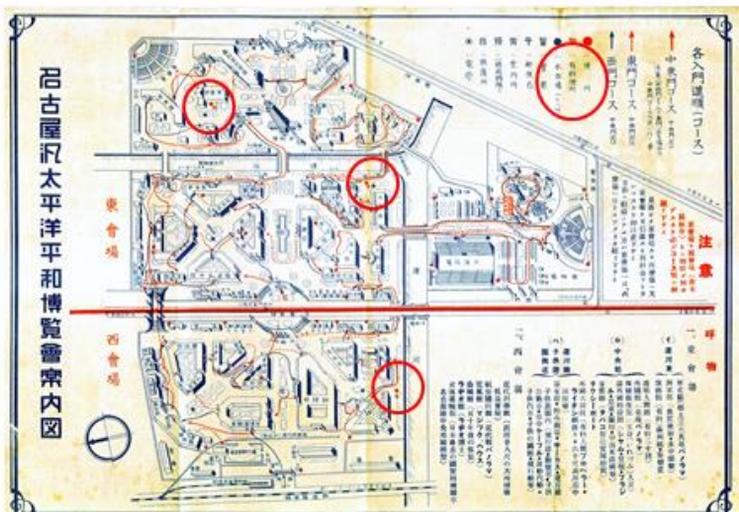


図14 名古屋汎太平洋博覧会案内図 有料便所は●有、便所は●で図示
 有料便所は 東会場 演芸館前、兵庫館の後、西会場 現代化学館の裏

中央部、運河南子供遊園付近」と西会場に分かれています。有料便所（W.C.）は、東会場の運河東と中央部、西会場に各一ヶ所の計三ヶ所（無料便所は三八ヶ所）に設けられています（図14）。
 有料便所（図15）の入口には切符売場があり、中は和式便器、洋式便器各一個、小便器三個、手洗い・鏡が備え付けられています。使用料は、一回五銭です。名古屋汎太平洋平和博覧会の昼間の入場料が大人六〇銭・小人三〇銭ですから、高額であった第五回内国勸業博覧会の高等便所に比べれば、妥当な料金の設定と思われる。

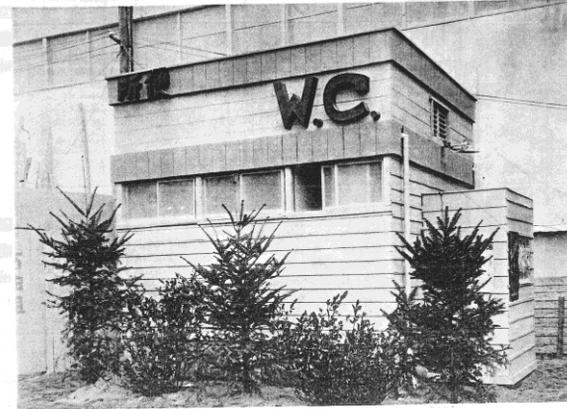
17. 最後に これからの有料トイレ

誰もが、清潔な排泄空間を求めています。

明治から大正、昭和に開催された博覧会・共進会のトイレを見ってきましたが、清潔なトイレを求めることは、いつの時代も変わりません。また、清潔な排泄空間が得られるのであれば、有料便所を使用する少々の費用の負担は惜しまなかったわけです。しかし、負担できる金額にはおのずと限



所 便 料 有



所 便 造 普

图15 名古屋汎太平洋平和博覧会有料便所（『名古屋汎太平洋平和博覧会会誌』（愛知県立図書館蔵））

度があり、観覧料の二倍、三倍と非常に高額であった第五回内国勸業博覧会の高等便所は敬遠され、名古屋汎太平洋平和博覧会では、常識的な料金に近い額まで下がっていきます。

また、肥料として流通し、有価物である尿尿を競って求めた時代は、少々費用がかかっても便所の建設に意味があったわけですが、大正期に入り、尿尿も無価物に転落し、更に廃棄物となると、有料便所の経営は使用料のみに頼らざるを得なくなり、厳しい状況に直面しています。大正三年（一九一四）の東京大正博覧会において、有料便所の設置が見送られたのも、そんな時代の背景もあったのかも知れません。

公衆トイレの多くは、5K（汚い・暗い・怖い・臭い・壊れている）のため嫌われ、龍谷大学の学生を対象とした調査では、約七％の学生が路上の公衆トイレを極力避けると回答しています。

観光客に清潔な排泄空間を提供するため、清水寺などに設けた京都市の完全洗浄式快適トイレ（有料）は、平成二四年に廃止に追い込まれ、そ

の一方で、JR大阪駅構内のトイレ機能も有する女性専用の有料化粧室は、時間待ちの状況もあると聞きます。これからは、清潔は勿論ですが、快適で多様な機能を持つ排泄空間が求められる時代になっています。

第十回関西府県連合共進会の高等便所が、多様な機能を持つ無料休憩所に追い詰められていったことをみると、ますますその印象が強くなります。そんなところに、歴史を調べる愉しさがあるので

最後に、資料の閲覧等に協力を頂いた各地の図書館・資料館の皆様、また、「下水文化研究」に掲載する機会を与えていただいた研究会の各位に御礼を申し上げます。

（二〇一四年一〇月一九日、小平市ふれあい下水道館にて。なお、本文は講演者自らが再構成したものです。）